あなたも直売やりませんか？

能代市二ツ井町種

佐藤　ウメ さん（69）

「直売に参加するようになって、毎日が本当に楽しい！」と笑顔で話してくれたのは、きみまち杉ちょくんの設立から直売活動を行う、佐藤ウメさん。この時期は花苗を出荷していて、直売所の中で人気の商品です。「直売活動で人と人とのつながりを強く感じることが出来ました。これからも仲間と共に、お客さんに喜ばれるものを提供していきたいです。」と意気込みを語ってくれました。

■商品紹介（季節等により価格は変動します。）

①ゴーヤ苗　100円／1個　②アスター苗　80円／1個
③夕顔苗　100円／1個　④アイスプラント　100円／1個

■店舗紹介（きみまち杉ちょくん）

二ツ井地区特産の山うど（12月～4月）漬物用の小ナス（6月～10月）をはじめ、その他の野菜、山菜、椎茸、加工品など、会員が真心込めて作った新鮮野菜や加工品が店頭にずらりと並びます。　お問い合わせ先：0185-73-6610

あなたもチャレンジ！

家庭菜園　今月のテーマ ▸▸▸ 施肥のポイント

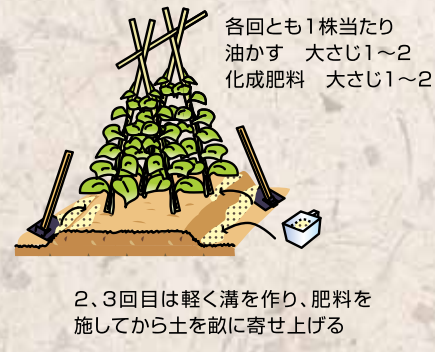
野菜の肥料の吸収は、育ちが進むにつれて多くなっていくので、その吸収に応じられるように、肥料を補給してやります。元肥として与えた土壌中の肥料分は、野菜の吸収により減少し、また、降雨やかん水によって流亡する分もあるので逐次補う＝追肥をしなければなりません。

追肥の与え方は、(1)野菜の種類、(2)育ち具合、(3)畑の条件などを考えて決めることが大切です。茎や葉を大きく育てるだけの葉茎菜類（ホウレンソウ、小松菜、ニンジン、ネギなど）は、生育の進み具合、葉色を目安に、15～20日置きに2～3回、大きさに応じて増量しながら与えるようにします。果菜類は種類によって性質が異なり、キュウリ、ナス、インゲンなど実止まりしやすいものは、葉茎菜類に準じて、生育が進み、収量が増えればそれに応じて増量しながら数回与えます。

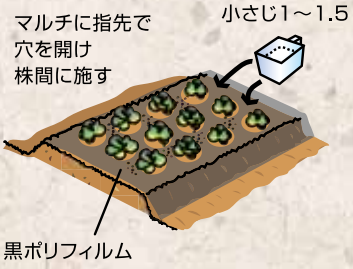
トマト、スイカ、カボチャなどは、果実が確実に着果し肥大するのを見届けてから追肥することが大切です。特に着果しにくい大玉トマトは、振動授粉やホルモン散布により確実に着果させ、一番果がゴルフボール大に肥大してから第1回の追肥をすることが肝心です。その後収量が増えるにつれて施肥量も増やし、全期を通じて3～4回与えます。

畑が乾いた状態のところへ追肥したのではすぐに根に吸収されないので、株の周囲にばらまき軽く土に耕し込んだり、畝の側方にくわで溝を作り肥料をまき、すぐに土を戻し、肥料を埋め込みます。肥料は根が伸出している先の方、溝を掘ったとき根が少し現れる辺りに与えるのが最良です。乾燥続きのときは施肥後にかん水したり、液肥としてかん水代わりに与えるのも良法です。

キュウリの場合



レタスの場合
※マルチがある場合



蠍座（10・24～11・22）　何事にも意欲的に取り組め、自分に自信が生まれるはず。直感やひらめきを得たなら、ぜひ実行に移してみて